

理系脳のあなたへ



もしかして… 文系だけの職場だと 思っていないませんか?

実は、地方公務員共済組合連合会は、あなたの“理系脳”を求めています。

例えば、年金制度を長期にわたり健全に維持するために必要な財政再計算や財政検証などを行う「年金数理」、投資活動を通じた社会への貢献や新しい運用への挑戦などの「資金運用」、法令に基づき適正に年金の決定・支給をするための「システム開発」、サイバーセキュリティ基本法に基づき求められる「情報セキュリティ」など、多岐にわたりあなたの“理系脳”が活躍できる職場です。

あなたの持つ数理的な素養で、 地方公務員の年金制度の将来を支えてみませんか！

当連合会は、現役地方公務員（組合員）と年金受給者合わせて約818万人の年金制度を担っています。この制度を長期にわたり健全に維持するためには、財政再計算と財政検証が必要です。

財政再計算では、数年に一度、組合員及び年金受給者の異動、昇給、年金等の支払いの実績データなどに基づき、将来の給付を予測し、給付に見合う適切な収入が得られるよう、保険料率等を改定することで、年金制度が将来にわたり維持できるようにしています。

財政検証では、将来の給付及び収入の予測から、現在積み立てておくべき金額を算出し、実際の資産と比較したうえで、年金財政が健全に運営されているか確認しています。

35兆円を超える資産を運用する 世界有数の機関投資家の職員として働いてみませんか！

当連合会は、地方公務員の将来を支える年金積立金の管理及び運用を行っています。

運用の方法として、債券や株式の購入などがありますが、当連合会では新しい運用について積極的に検討し、取り組んでいます。

また近年は、オルタナティブ投資といって、社会にとって必要不可欠なサービスであるインフラ施設等への投資、あるいは企業に対する成長資金の供与等を通じて、地域住民の方々や経済全体への貢献を果たしています。

地方公務員の年金システムの開発を一緒にやりませんか！

年金制度は、法律や制度改正により年々複雑化しており、当連合会は、法令に基づき適正に年金の決定・支給をするためのシステム(年金システム)の開発等を行っています。

年金のシステムは、制度改正に対応して開発を行います。このため、国や関係団体、システム開発を受託する事業者(ベンダー)と調整を行い、協力しながら開発を行っています。

システムを開発する業務は、年金制度の理解や法令の解釈、設計ドキュメントの理解などの専門的な知識も必要となりますが、経験がない方でも、採用後は研修等を行いながら、経験に応じて担当業務を広げていきますので心配はいりません。

安心・安全なシステム構築に不可欠な サイバーセキュリティの砦になりませんか！

当連合会は、各地方公務員共済組合に対して年金に係る技術的・専門的な知識や資料を提供するとともに、当連合会の職員が日々利用する情報システムの管理・運用を行っています。安心・安全なシステムを構築するためには、サイバーセキュリティの確保が不可欠であり、戦略的な対策を講じなければなりません。

サイバーセキュリティを守るのは、最後は“人”だと言われています。システムにどれだけ強固なセキュリティ対策を施したとしても、システムを取り扱う人間に脆弱性があれば事故は起きてしまうかもしれません。職員一人ひとりが、サイバーセキュリティを身近なこととして捉え、情報を守るという意識をもって日々の業務に取り組むことが最も重要です。

当連合会では資格取得費用助成制度を利用して、採用後、アクチュアリー、証券アナリスト、情報処理技術者等の資格取得を目指すことができます。

理系脳のみなさんも
お待ちしております！

